



平成 26 年 10 月 7 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所
 代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄
 (コード: 6432 東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画室長 神山 輝夫
 (TEL 0268-81-1100 (代表))

平成 27 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 10 日付「平成 26 年 2 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成 27 年 2 月期(平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想について下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 2 月期 第 2 四半期累計期間業績予想(平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,200	3,900	3,640	2,200	134.71
今回修正予想 (B)	37,743	6,055	5,965	3,640	222.88
増減額 (B-A)	2,543	2,155	2,325	1,440	—
増減率 (%)	7.2%	55.3%	63.9%	65.5%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	28,053	1,777	3,016	2,424	148.44

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	28,400	2,800	2,830	1,760	107.76
今回修正予想 (B)	31,661	4,710	4,813	3,007	184.12
増減額 (B-A)	3,261	1,910	1,983	1,247	—
増減率 (%)	11.5%	68.2%	70.1%	70.9%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	21,187	1,699	2,132	1,426	87.33

修正の理由

【連結】

当社グループの欧州での建設機械の販売が期初見通しよりも増加したことにより、売上高は予想よりも25億4千3百万円増加し377億4千3百万円になる見通しです。

利益面では、売上高の増加及び為替レートが予想よりも円安に推移したことにより、営業利益は予想よりも21億5千5百万円増加し60億5千5百万円になる見通しです。また、営業利益の増加により、経常利益は23億2千5百万円増加し59億6千5百万円、第2四半期累計期間の四半期純利益は36億4千万円になる見通しです。

【個別】

建設機械において欧州及び米国向けの販売台数が増加したことにより、売上高は予想よりも32億6千1百万円増加し316億6千1百万円になる見通しです。

利益面では、売上高の増加及び為替レートが予想よりも円安に推移したことにより、営業利益は予想よりも19億1千万円増加し47億1千万円になる見通しです。また、営業利益の増加により、経常利益は19億8千3百万円増加し48億1千3百万円、第2四半期累計期間の四半期純利益は30億7百万円になる見通しです。

2. 平成27年2月期 通期業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	59,600	6,000	5,750	3,500	214.30
今回修正予想 (B)	67,000	9,640	9,640	5,910	361.87
増減額 (B—A)	7,400	3,640	3,890	2,410	—
増減率 (%)	12.4%	60.7%	67.7%	68.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	53,617	4,436	6,470	4,624	283.18

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,400	4,350	4,850	3,200	195.94
今回修正予想 (B)	61,600	8,050	8,730	5,610	343.50
増減額 (B—A)	9,200	3,700	3,880	2,410	—
増減率 (%)	17.6%	85.1%	80.0%	75.3%	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	46,933	4,688	6,096	4,111	251.77

修正の理由

【連結】

建設機械の販売台数は、米国及び欧州で増加する見通し及び為替レートを円安に見直したことから、売上高は予想よりも74億円増加し670億円になる見通しです。

利益面では、売上高の増加及び為替レートを円安に見直したことにより、営業利益は予想よりも36億4千万円増加し96億4千万円になる見通しです。また営業利益が増加する見通しにより、経常利益は38億9千万円増加し96億4千万円、当期純利益は59億1千万円になる見通しです。

第3四半期以降の為替レートは、1米ドル=104円、1英ポンド=172円、1ユーロ=135円、1人民元=16.8円を前提としております。

【個別】

米国及び欧州向け建設機械の販売台数が増加する見通し及び為替レートを円安に見直したことから、売上高は予想よりも92億円増加し616億円になる見通しです。

利益面では、売上高の増加及び為替レートを円安に見直したことにより、営業利益は予想よりも37億円増加し80億5千万円になる見通しです。また営業利益が増加する見通しにより、経常利益は38億8千万円増加し87億3千万円、当期純利益は56億1千万円になる見通しです。

第3四半期以降の為替レートは、連結と同じレートを前提としております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上